

# かわむらこどもクリニックNEWS

Volume 10 No 05

106号

平成14年 5月 1日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255 HOMEPAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

## おばあちゃん

## 院長

今回は、おばあちゃん（おじいちゃんも）のことについて、考えてみましょう。診療中におばあちゃんの話が出てくるパターンは、大きく分けて2種類あります。一つはおばあちゃんがうるさく言う場合と、入院などで協力してもらおう場合です。

先日、イギリスからの医療相談を受けました。「4ヶ月ぶりに日本から里帰りを終えてイギリスに帰ってきました。すっかりおばあちゃん子になってしまい、今私の母もこちらにいますが、娘は何をするにもおばあちゃんがいないと泣いてしまいます。私のことはおそらく、お姉ちゃんと思っているのでしょうか。夜もベッドをいやがりおばあちゃんの胸でしが眠ろうとせず、正直いつてこれから慣れるのが心配です。まだ帰国して2日です。これからのように彼女に対応すべきが悩んでいます。どうぞよろしくお願いします。」。確かに特殊な情況かもしれませんが、しかしこのメールには、お母さんの思いとは他に、おばあちゃんの辛い思いが隠れています。

さて皆さんなら、どう答えたでしょうか。続いて返信です。「御返事します。子どもというのは、自分を許してくれる人に甘えます。おばあちゃんの方がお母さんより、許してくれる範囲が広いのは当然でしょう。おばあちゃんはお孫さんを目に入れても痛くないものです。そう考えれば、おばあちゃん子になってしまうの当たり前のことです。しかし現実というものがあります。子どもにとって、いつも甘やかしてくれる環境で過ごすことは、必ずしもいいことではありません。もう一つ大事なことは、おばあちゃんが日本に帰らなければならないことです。お母さんがどんなに心配しても、その事実だけは確かです。子ども（この時期）の記憶は、かなりあいまいなものです。長く覚えていることは出来ません。最初は騒ぎますが、すぐに自然に忘れてしまうものです。同じような情況は、子

もが初めて保育園へ行くのと同じです。最初はお母さんから離れるのがいやで大泣きしますが、次第に慣れていき泣かなくなります。何も心配はいりません。必ず慣れると、信じるしかないでしょう。お母さんがそんな思いをしていると、今度はおばあちゃんがかわいそうです。おばあちゃんが後ろ髪引かれるような心配を残したまま、帰国させるわけにはいきません。おばあちゃんも、お子さん（お孫さん）と同じ思いなはず。そのおばあちゃんのためにも、お母さんがお子さんを信じてあげて下さい。お子さんのお母さんは、世界中探しても〇〇さん（ごめんなさい固有名詞を使って）だけなんです。母親としての、自信を持って！！」。辛い母親を見て、おばあちゃんちゃんは、もっと辛いはず。これもおばあちゃんの一つの姿なのでしょう。



おばあちゃんは孫のことが可愛いあまり、食事、病気や躰など様々な所に口を挟みます。時によっては、わがままを優先してしまうことにもなります。基本的におばあちゃんは、孫に口うるさく言って嫌われたくはないのです。子どもに対する思いの違いから、姑さんとお嫁さんの間には行き違いが生じてしまうこともあります。逆に、入院やお出かけの時には、おばあちゃんに頼らなければならないこともあるのです。

子どものためには、おばあちゃんと上手な関係を作ることが大事です。そのためには、お互いの気持ちを思いやることも大切なことです。どちらも子ども（お孫さん）のためと思っているのですから。しかし、おばあちゃんのすること全てを、必ずしも許す必要はありません。子どもにとって、悪いことは悪いと判断するのが母親の役目です。子どもの母親は世界中探しても、自分一人だという自信を持つことが必要だと思います。機会があれば、おばあちゃんにも是非読んでもらって下さい。

### 河北新報 「子ども未来図 語らいパーク」

育児ジャーナリスト牧田栄子さんが「小児科医への期待」と題して講演。続いて、開業医の永井幸夫さん、川村和久さんが、会場の参加者と対話形式で話し合う。

### 5月12日 13～15時 河北新報見学者ホール

参加希望者は、はがきに住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記載し、〒980-8660仙台市青葉区五橋一丁目二ノ二八、河北新報社特報部へ。電子メールtokuhoh@po.kahoku.co.jp、ファクス022(211)1255でも。託児無料。



### ・栄養育児相談 5月のお知らせ

・日本脳炎予防接種

5月～7月までが期間です。

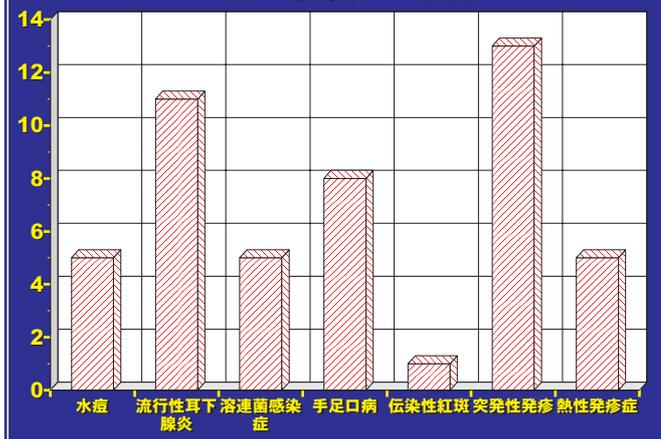
4月から診療報酬の改訂のため、窓口料金が変わりました。御不信があれば、何なりと問い合わせ下さい。

## 読者の広場

先月も25通を超えるメールと投書を頂きありがとうございました。出版したこともあり、それにまつわるメールが多かったのが特徴でした。本の宣伝も兼ね、紹介したいと思います。もらったメールには必ず返事を差し上げています。その返事も含めて紹介したいと思います。まずは大宮さんから。「こんにちは。今日も、ささいな事で先生の所にお伺いしてしまい、すみませんでした。先生の『大丈夫』の言葉を聞きながらたのしみながらも…。未来が生まれて2年4ヶ月。何回通院したのでしょうか？。未来の病気を治療して頂くだけではなく、私の『心配』まで治療して頂いて来ました。先生、スタッフのみなさんには、言葉にはできない位感謝しています。思い出だけで涙がでてしまう…。さて、先生の本を購入しました。まだ少ししか読んでいませんが『かわむらこどもクリニック』がいつもそばにいてくれるような安心感があります。それにしても先生ってスゴイ！本を書いちゃうなんて！。忙しいのにスゴイ！。そんなスゴイ先生に診察して頂いているなんて、私達は幸せ！。先生！、お忙しいのでお体には気を付けて下さいね。私は、先生の本を読んでささいな事で通院しないようにしますね。（でも、先生やみなさんに会いたいな）それでは、この辺で失礼いたします。乱文をお許し下さい。大宮 圭子」。続いて返事の返事です。「こんばんは！未来の母です。お疲れのところ、御返事ありがとうございました。（感動です）先生の本を読んで只今、勉強中です。私が先生から言われたことが本に書かれて、まるで先生とお話しているようです。これから出産を控えている友人に先生の本をプレゼントしますね。それでは、ゆっくりお休み下さい！」。続いては千葉さんから。「こんばんは。先生の書かれた本、ついさきほど買ってきました。早速、子供を寝かしつけゆっくりと読みたいと思ってます。やまとはおかげさまで、ゼロゼロもとれ咳もしなくなりました。来週にはポリオ受けられそうです。今日は、すごく身近な先生が改めて偉大な先生なのだと思感してなんだかうれしくなつてついメールしちゃいました。この本お友達ママに宣伝しまーす(^o^)。それでは今後ともよろしくおねがいします。おやすみなさい。」。次は郷古さんから。「かわむら先生、今日はお世話様でした。久々の受診で、しかも出先の熱だったので、保険証も診察券も持っていながつたのに、診て頂きまして、ありがとうございました。久々のクリニックは、受付のお姉さんも、看護婦さんも、先生も変わらずで、なんかほつとしました。いいことですが、最近はお陰様で子供達も健康体になり、先生のところへの受診もほとんどなくなり、なんとなく淋しさを感じていた私は、今日嬉しかったです（子供が具合悪いのに、喜んじゃいけませんよね）。（略）今日は、4月のみならず、1.2.3月の新聞も頂いてきました。本も出版されたのですね。絶対欲しいと思い、先程本屋さんに行き買ってきました。本屋さんでみつけて、ニタニタしていた怪しい私です。（略）」。返事の返事です。「お返事ありがとうございます。昨夜吐いた量が多かったので驚きましたが、そのままぐっすり眠り、後は一度も吐かず、熱も平熱になりました。咳を少しして、機嫌が悪いですが、元気はあるようです。昨日は、本人が言うには薬でおえつとなつたと。ご心配おかけしました。本、昨日あれからいっきに読みました。思った通り、良かったです。今まで、看護婦だからと色々聞かれたりしてたのですが、専門用語を並べても、相手はわからないだろうし、説明に困ることも沢山ありました。その時は先生の新聞をみて教えていたのですが、次からは、この本が役立ちそうです。ちょっと賢くなったような、先生に近づけたような、そんな感じです。本は、幼稚園の友達、親戚、みーんなにすすめますよ。かかりつけの先生なだけで、と自慢げに話している私です。これからも、宜しくお願いします。」

診察中に驚いたことがありました。お母さんがいきなり本を取りだし、サインして下さいというのです。とても嬉しく思いました。買った人は、持ってきて下さい。よければ、サインしてあげますよ。メールといい、この出来事といい、改めて支えられていることを感じました。

### 4月の感染症の集計



### 新刊書籍の御紹介

小児科医がやさしく教える

赤ちゃん・子どもの病気

定価1,350円（税別）

発行 PHP研究所

日本一の小児科ホームページから生まれた

新しいタイプの育児医学書

序章 先生が教える小児科の上手なかかりかた  
第1章 子どものよくかかる病気・早わかり教室  
第2章 こんな症状、こんな病気で悩んでいるお母さんへ



相変わらず、おたふく（流行性耳下腺炎）が多くみられます。水痘は一時期と比べると、半分程度に減っています。暖かいせいなのか、手足口病が目立ってきました。ただ一時減っていたインフルエンザがまた流行しています。流行の主流はB型で、北六小学校では学級閉鎖もあったようです。連休は学級閉鎖と同じようなものです。減ってくるといいのですが。

### 編集後記

本の件ですが、東北放送ラジオ、朝日新聞で紹介されました。この後も続々(?)、紹介予定です。また河北新報の子ども未来図で、連休明けに記事が出ます。同じ河北新報の夕刊の随想、5~6月計8回担当することになりました。お楽しみに。あ〜あ！。忙しい。忙しい中での久しぶりの連休です。少し羽根を伸ばすことが出来ました。皆さんは??。

